

問 予算編成の取り組みは

答 効果的 効率的に

高山 政信 議員

問 公約を織り込みバランスのとれた予算編成であったと思われるか。

市長 就任前からの公約を踏まえいくつか申し上げると、林業の再生事業、バイオマスタウン構想の策定、あずかり学童保育等子育て支援の充実、警察、消防との連携による児童生徒の安全確保等、総合計画の基本理念に沿って、地域性を尊重しつつ新市の一体感の醸成に努めてまいります。

市長 土木、建設業界は厳しい、雇用対策として工事発注増を。今後における公共事業への考えは。

市長 市としてどしどし事業の

発注はしてゆきたいと考えているが、約30%減の予算で取り組んでおり、それなりの努力をしていただく必要もあるのではないかと考えている。しかし地元で対応できるものは地元で考えている。

問 宍粟材活用促進に公共建築物に活用を。

市長 可能な限り使用したいと考えている。

問 利活用に応じて助成制度を設けてはどうか。

市長 民間への対応については、組んで参りたいと考えております。

問 地域の発展について

答 早期実現を目指して

小林 健志 議員

問 旧神河中跡地活用について、市長の考えを伺う。

市長 総合福祉センターの建設は、合併協議の中で合併特例債を使つての事業であるので、少なくとも10年以内には実施をする。ただ、神河中跡地に建設するとはまだ決定していないが、一番大事な候補地であると認識している。

問 須賀沢、桜の元交差点改良工事計画について進捗状況を伺う。

土木部長 国道管理者の国土交通省との協議が整い、道路の基本的な線形が決まりこれをもとに詳細測量や用地物件調査等の段

階に入っている。今後は地元説明会を開催し、関係者の了解を得る中、用地買収等も実施していきたい。県道田井・中広瀬線の改良工事も視野に入れているから早期開通を目指す。

問 企業誘致について行政が積極的に協議を進めるべきだが考えを伺う。

市長 企業進出による地域へのメリット等を説明し、地元で協力と理解を求めようようにしたい。



問 税滞納の改善進捗率は

答 21.4%です

秋田 裕三 議員

問 税の滞納問題が改善できないと不公平感を助長し社会から活力を奪い経済を衰退させる事態がです。義務を果たさずして権利を、サービスを求めずともいつかは運営がショートします。健全な市政運営の為に、より一層の改善率向上が急務です。滞納金額の合計もさることながら不公平感の助長、このことを心配します。改善進捗率は。

市長 国において平成18年秋から法律の整備に入る。市として法律の制定をうけてより就学前の幼児に対する教育、保育のあり方を全国で展開されている特区施設の実態を含め総合的に検討したい。

総務部長 市税の滞納は金額573,458千円に対し、123,133千円の回収ができました。21.4%の改善進捗です。

問 子供たちは未来から来た旅人とも

